



玉川通信

学校だより NO. 4
令和7年6月30日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

関東甲信地方は、6月10日、梅雨入りしました。気象庁によりますと、今後は各地で高温が予想されるなど、暑さの激しい夏になると見られています。保護者・地域の皆さま、くれぐれもご自愛ください。

行為（行動）の目的を考えてみる！

寓話「3人のレンガ職人」

旅人が、建築現場で作業している人に「何をしているのか？」と質問した。

一人目の職人は、「レンガを積んでいる」と答えた。

二人目の職人は、「壁を造っている」と答えた。

三人目の職人は、「大聖堂を造っている。神を讃えるためにね」と答えた。

3人とも「レンガを積む」という同じ仕事をしているのに、「何をしているのか？」という質問に対する答えが異なっています。

一人目の職人は「レンガを積んでいる」という行為そのものを答えているだけです。

二人目の職人は「壁を造っている」というレンガを積むことの目的を答えています。

三人目の職人はまず「大聖堂を造っている」という壁を造る目的を答え、さらに「神を讃えるためにね」という大聖堂を造ることの目的を付け加えています。

人間の行為の中でも、「働く、学ぶ、貢献する等々」の社会的行為には、「目的と手段の関係」が内在しています。

また、一つの行為の目的には、さらにその目的が存在します。これを「目的と手段の連鎖」と言います。

寓話を例にとれば、「レンガを積む」⇒（なぜ積んでいるの？）→「壁を造る」⇒（なぜ壁を造っているの？）→「大聖堂を造る」⇒（なぜ大聖堂を造っているの？）→「神を讃えるため。」、という構造になっています。行為を「なぜ？何のために？」という問いを連鎖させることで、より価値のある目的が明確になってきます。

また人間は「レンガを積み上げる」ために、毎日、ただレンガを積み上げることができでしょうか。ドストエフスキーは、「人間にとって最も恐ろしい罰とは何から何まで徹底的に無益で無意味な労働を一生科すことだ」と言っています。

みなさんは「なぜ・何のために？」、「働いているのですか？」、「学んでいるのですか？」

1 学期の学習と生活について「振り返り」をさせてください！

「振り返り（メタ認知）」には、2点あります。第1点は、セルフ・モニタリング（自己評価・自己点検）です。自分はこの1学期で「何が分かるようになったのか」、「何を考えることができたのか」、「何ができるようになったのか」自問自答させることです。このことにより、お子さんは自らの成長を確実に実感することができま

す。第2は、セルフ・コントロール（自己管理・制御）です。セルフ・モニタリングで明らかになった課題について解決策を考え・実行させてください。このことにより、また一歩成長することができます。

7月の生活目標「物を大切にしよう」

＜学級での取組＞

- ・持ち物に記名をし、大切に使う。
- ・公共物を大事に使う。
- ・使った道具は片付ける。
- ・物の無駄使いをしない。



靴箱の使い方を確認しました。休み時間に校庭に行く時は、慌てず上履きをそろえて入れます。休み時間から戻ってくる時には、心を落ち着けて靴をそろえ、気持ちを授業に向けていきます。

第6学年 日光移動教室

6月1日(日)～6月3日(火)にかけて日光移動教室に行ってきました。今年度は「協力して、安全に、楽しい移動教室にしよう」というスローガンをたてました。5年生のハケ岳移動教室の経験を生かし、しおりをよく見て、自分たちで時間を意識して活動している姿が印象的でした。責任をもって係活動を行い、自分の役割を果たすことができ、子供たち自身も満足感を感じられる三日間となったようです。

一日目は、大谷資料館、日光東照宮の見学、夜はナイトハイクでした。歴史を感じる造りの建物、彫刻に感動していました。

二日目は、ハイキングとふくべ細工体験でした。たくさん歩いた後には足湯で疲れをいやしました。

三日目は、華厳の滝と富弘美術館の見学でした。華厳の滝の雄大な姿や、星野富弘さんの繊細な詩を味わっていました。

移動教室でしか体験できない貴重な経験が、今後の学校生活の中で生かされるように励まし、指導していきます。最後に、朝早くからのお見送り、お迎え、準備等に御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

第5学年 ハケ岳移動教室

6月19日(木)～20日(金)の二日間、ハケ岳移動教室に行きました。子供たちは、「みんなで協力して思い出に残る楽しいハケ岳移動教室にしよう」というめあてに向かって準備をしてきました。初めての宿泊学習で分からないことも沢山ありましたが、自分たちの力でしっかり準備を進めることができました。

ハケ岳では、美しの森ハイキング、キャンプファイアー、自然体験プログラムの行程を無事に終えることができました。

初めての宿泊学習の中で、周りのことを考えて行動することの大切さに気づき、集団で行動していく難しさや大切さに気付くことができました。一日目は、時間に間に合わないこともありましたが、二日目では、班で声をかけ合い、5分前行動を意識して行動することができるようになりました。移動教室を通して集団で生活するために大切なことを学ぶ大きな一歩となりました。友達と協力したり、自分の役割を果たしたりすることを、これからの学校生活に生かしていけるように学年で指導していきます。

最後に、朝早くからのお見送り、お迎え、準備等に御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

定期健康診断が終了しました

今年度の定期健康診断がすべて終了しました。保健関係書類の提出や、ご家庭でのサポート、ありがとうございました。定期健康診断の結果は、今月の個人面談の際、学級担任より保護者の方へ直接お渡しさせていただきます。1年生のみ、通知表と一緒に配布します。(6月16日(月)現在の受診状況を印刷したものを配布します。)ご家庭にて保管してください。保健だより7月号に、記録の見方を載せましたので、ご参照ください。

夏休みの生活について

安心・安全な生活を過ごすために

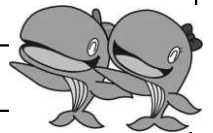
学校生活における基本的なきまりから、休み時間の過ごし方等確認・指導を行っています。御家庭でも、お子さんの登下校や放課後の過ごし方について把握していただき、学校からの配布物を参考にお声掛けください。大きな事件や事故・トラブルを未然に防げるよう御協力ください。また、学年が上がるにつれて行動範囲が広がっていきます。困ったことや「おかしいな」と思ったことなど、おうちの人にすぐ伝えるようお子さんとお話してください。

スマートフォン・オンラインゲームの扱い方に注意を！

子供たちの間で、スマートフォン等の機器を使用したSNSやインターネットを介したゲームが流行しています。これらを使用した友達同士のトラブルは、見付かった時点でかなり深刻な状態になっています。子供たちが安心・安全で健やかな人間関係を育んでいくために、お子さんの使用状況を確認してください。また、お子さんと話し合って、御家庭でしっかりとルールを決めましょう。

風水害に注意を！

夏の時期は、急な天気の変化が予想されます。台風はもちろんですが、突然のゲリラ豪雨や河川の増水など、危険を予想しての行動が大切になります。昭島市では多摩川の遊泳は禁止です。

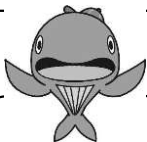


読書旬間

玉川小学校では、年2回の読書旬間を設定し、子供たちの読書習慣の定着を目指しています。

第1回を、6月9日から20日に実施しました。玉川タイムでの朝読書に加え、きらきらぼしの方にお越しいただき、各学級で読み聞かせをしていただきました。子どもたちはあっという間に本の世界に引き込まれ、読書の世界を楽しむことができました。

また、図書委員会の児童が“おすすめの本”をPOPにして図書館に飾りました。この旬間を通して、読書の楽しさを味わい、すんで本を読むきっかけになるといいです。



タブレットについて

本校では、情報活用能力を向上させることをねらいとして、3年生以上は、毎日家庭へタブレットを持ち帰っています。児童のより良い教育を目指して、以下の御協力をお願いします。

①毎日家で充電する。②故意に破損させたり、紛失させたりしないよう管理する。

4月に配布した「タブレット活用のルールについて」を基に、タブレットの扱い方を指導しています。ランドセルの中に入れて持ち運ぶことや、手に持って移動する際にはケースに入れてしまうことなどを御家庭でも、もう一度御確認ください。故意の破損もしくは、紛失時は機器の再購入費を負担していただきますので、あらかじめ御了承ください。

7月1日(火)～4日(金)に、夏休み持ち帰り前のタブレット点検を行います。タブレット本体と充電アダプタを児童に持たせてください。夏休み中は全学年持ち帰りますので、御家庭での保管をよろしくお願いいたします。